



会長挨拶

湯河原ロータリークラブ

会長 伊藤伸之

本日は湯河原ロータリークラブ創立50周年記念式典を開催するにあたり、湯河原町町長 富田幸宏様をはじめ行政関係者、湯河原ライオンズクラブ幹事 小田 勉様をはじめ近隣奉仕団体関係者、そして国際ロータリー第2780地区ガバナー 森 洋様をはじめロータリークラブ関係の皆様方に於かれましては、大変お忙しいところご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

湯河原ロータリークラブは、小田原ロータリークラブのスポンサーにより創立会員24名で昭和37年4月20日創立総会を開き、それから半世紀経過し今日に至りました。創立時のクラブにおける基本的考え方は親睦であると教わり、その考え方で今日まで行動してまいりました。クラブには素晴らしい方々が入会されます。親睦を深める事により、なお一層その会員を理解する事ができ強い絆で結ばれます。そのような絆から自然に職業奉仕へと進み、その職業奉仕から生まれたささやかな利益が地域をはじめとする社会奉仕活動の原資となり、また国際奉仕活動へと進むと信じます。

顧みますと湯河原ロータリークラブの周年記念事業は10周年は大観山中腹の“山もみじ”、20周年は高校への“ミモザアカシヤ”、40周年は大観山愛樹の碑附近の“いろはもみじ”、45周年は池峯の「紅葉の郷」への植樹があります。自然環境や水資源の保全の為、又、春は新緑、秋は紅葉と温泉観光地である湯河原として来湯されたお客様や地元の方々が、憩いや明日への活力の元になろうとの考え方から植樹は機会ある事に行われて来ました。

今日の経済情勢は大変厳しい状況が長く続いています。湯河原町、真鶴町も例外ではありません。このような状況下で会員増強もままならぬ中、先輩ロータリアンが作られた湯河原ロータリークラブの良さを大切にし、これから100周年に向け“温故知新”を念頭に地道に奉仕活動を続け地域発展のため努力をしていく所存であります。その為ここに居られるご来賓の方々をはじめ多くの皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りたく切にお願い申し上げます。



50周年記念式典
実行委員長

高杉尚男

湯河原ロータリークラブ

開式のことば

本日は、湯河原ロータリークラブ創立50周年記念式典に、国際ロータリー2780地区森 洋ガバナーをはじめ、ご多用中にもかかわらず多数のご来賓の皆様にご臨席賜りまして、誠にありがとうございます。

思えば昨年7月、2011～2012年度のスタートと同時に、伊藤会長のもと50周年実行委員会を発足し、以後、毎月実行委員会にて各担当委員長と協議を重ね、本日を迎える事が出来ました。

のちほど、記念事業委員長より発表されます、湯河原ロータリークラブにとって大変大きな節目となります。50周年記念事業につきましては、会員各位はもとより、本日、湯河原町長にご臨席を頂いておりますが、湯河原町及び関係者のご理解とご協力のもと、長年温泉観光地湯河原の環境美化に取り組んで参りました、私たちクラブに相応しい事業になりましたことを、ご報告致しますと同時に、心より感謝申し上げます。

さて、湯河原クラブはロータリーバッチの歯車の数より、僅か2名多い26名の会員数のクラブではありますが、本日の式典に当たり会員一同、一生懸命準備をして参りました。

そして、祝宴では温泉街と共に歩んだ、湯河原クラブの先輩ロータリアン達が築いて来た伝統の形式に習い、宴席をご用意致しております。

皆様をこのようにお招きし、式典・祝宴を執り行わせて頂く中にも、何かと不行き届きな点、不手際等があるかと思いますが、ロータリアンの寛容の精神を持ってお許しを頂き、ご臨席の皆様には、最後までお付き合い下さいますようお願い申し上げますと共に、ロータリーの友情を深めて頂ければ幸いです。

簡単では御座いますが、開式のことばとさせていただきます。



国際ロータリー第2780地区
ガバナー
森
洋

ご祝辞

湯河原R.C.50周年おめでとうございます。

先人たちの地道な地域での奉仕活動が実を結び、50周年という区切りのよい年をお迎えになったと思います。

さて、最近のロータリーは大きく変わりつつあります。変化に対応したロータリー活動が強く求められています。

私は、本年度公式訪問で、あくまでもクラブが基本であり、地区やR.I.はクラブのために何ができるのか、メニューや情報をクラブのために提供するべく努力を重ねてまいりました。特に、R.I.の戦略計画を丁寧に説明してきました。すなわち『クラブのサポートと強化』、『人道的奉仕の重点化と増加』、『公共イメージと認知度の向上』の3つの優先項目を主眼に説明をいたしました。

全世界14,000人のロータリアンのアンケートの結果をSWOT分析したものがR.I.の戦略計画であります。私はその中でも、『クラブのサポートと強化』に焦点をあて、効果的なクラブになるには、強い元気のあるクラブになるためには4つの項目をクリアーしていただけるようお願いをしてまいりました。

50周年を迎えられた湯河原R.C.は、まさに歴史、実績ともに地区内のリーダー的役割を果たしていただくよう強く望むものであります。

具体的には、効果的な、強いクラブとは①会員の増強・維持②成果のある奉仕プロジェクトに参加する③財団を支援する④クラブレベルを超える指導者を育成することです。クラブレベルを超える指導者の育成こそ、私が本年各クラブにお願いしたクラブ研修リーダーだと認識しております。奉仕活動に終わりはありません。50周年を通過点として、次の100年、1世紀に向けてさらに飛躍されることを期待し、祝辞といたします。



ガバナーエレクト
菅原光志

国際ロータリー2780地区

ご祝辞

湯河原ロータリークラブがこの度創立50周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

先輩ロータリアンが神奈川県西の地、山・海に囲まれる風光明媚な観光地、温泉地に昭和37年4月に創立され、歴史の流れを感じます。10周年事業として椿ラインの山肌にもみじを3,655本の植樹をなされ、毎年会員一同が下草刈りをして40年守っておられる事感服しております。私も数回、車を走らせましたが、春は椿に始まり、新緑の中に桜が咲き乱れ、秋には紅葉を楽しむ事が出来、椿ラインの風情はまことにすばらしいものです。多くの観光客の心を和ませていただく事に湯河原ロータリークラブに感謝申し上げます。又5年ごとに人が集まる場所に植樹や花を植えており、人間は綺麗なものを見て怒るひとはいません。おだやかな心もちます。これからもぜひ継続していただきたいとお願い申し上げます。

さて国際ロータリーは「奉仕を通じて平和を」と田中会長エレクトがテーマを発表しました。奉仕すなわちサービスの心を持って、クラブ全員が行動し、平和すなわちおだやかな心を一人ひとりが心に刻み、寛容な精神で人生を過ごす事で、真の平和が訪れ、又、奉仕を实践していく事から他者への尊重の念が生まれ、互いに尊重しあう事によって平和がもたされていく。と話されました。

これはまさに湯河原ロータリークラブが実践していることで、今後60年、70年、100年に向かって元気なクラブ、楽しいクラブづくりに邁進していただくことをお願いして、お祝いのご挨拶とします。



小田原ロータリークラブ
会長 高田 喜 好

ご 祝 辞

湯河原ロータリークラブ創立50周年、誠にめでたうございます。心よりお慶び申し上げます。1962年昭和37年4月の発足、5月の承認を経て、翌1963年3月20日の伝達式で正式に産声を上げ、早50年の歳月を迎えました事、大変喜ばしくお祝い申し上げます。

本日湯河原ロータリークラブのホストクラブとしてお伺いしました。

さて50年の歴史とは大変重みのあることであります。湯河原ロータリークラブは、50周年を記念してホームページを開設されました。早速、拝見させていただきました。その中で、今日までの足跡をかいま見ることが出来ます。

今年度の伊藤会長は、創立当時の先輩会員が創られたロータリーの情熱に感謝をし、湯河原ロータリークラブの良き伝統である「親睦から奉仕活動」を基本に発展できればと述べております。

奉仕活動の代表例を伺いますと、湯河原町、町村合併50周年記念の一環として、湯河原小学校4年生119名とロータリアンが、一緒に「もみじの郷」へ山もみじの木を記念植樹されました。子供達に自然環境の大切さを、教育実践なさり、今では参加した子供達も大きく育ち、植樹したもみじの木も毎年、青々と繁り、秋には見事な紅葉を色づかせていると聞きます。その行動が脈々と受け継がれ、今年度も伊藤会長を先頭に9月30日に山もみじの下草刈りを行ったと伺い、まさにロータリーの奉仕の実践を地元の人々を巻き込みながら活動する、我々第9グループの模範となる行動と礼賛します。

今年度のカルヤンバネルジーRI会長は3つの強調事項として「家族・継続・変化」を掲げました。湯河原ロータリークラブ創立50年の長い歴史の間には色々なことが起きていることと思います。「家族・継続・変化」どれか1つが欠けても、ロータリーの目的は達成されないでしょう。しかし歴代の会員の皆様や、要所要所の節々に担当した会長、広く言えば大きな家族のご尽力により、湯河原ロータリークラブ独特の奉仕が、今ここに確立されております。ロータリーの奉仕の精神は創立から、脈々と受け継がれ歴史を創っております。私たちの心の中を見つめれば、継続の中に変化が生まれ、湯河原ロータリークラブは奉仕活動の今後10年20年先、真のロータリー活動がこの地に、さらに根付き、さらに大いに、発展されること、第9グループの鑑となることをスポンサークラブとして切に願っております。

最後に、本日ご列席の皆様方のご繁栄とご健勝を祈念いたしましてお祝いの挨拶とさせていただきます。



立山ロータリークラブ
会長 和田昌三

ご祝辞

このたびは、貴クラブ創立50周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

友好クラブとして姉妹提携を結ばせていただいております立山ロータリークラブといたしましては、心よりお祝いを申しあげたいと思います。

湯河原ロータリークラブの皆様とは、日頃より親しくご厚誼をいただいております感謝を申しあげたいと思います。

また、このたびの創立50周年のお祝いの席にお招きを頂きまして誠にありがとうございます。

貴クラブは1962年4月20日に湯河原ロータリークラブとして創立され、貴地区の先達として「奉仕と友情」というロータリーの精神にのっとり、実践活動を通じて地域社会の発展のためにご尽力され、素晴らしい50年の歴史を刻んでこられたことに、心より敬意を表しているところであります。

感じますに、山や海、自然豊かな姿と、そして伝統ある深い歴史に培われた文化、そして日本全国に知れ渡る有名な観光地でもあり、温泉地でもあります湯河原町。

神奈川県西南端に位置し、前に海、後に箱根山を背負う気候の温暖な土地であり、万葉集にも詠まれている湯治場でもあり、「源平盛衰記」にも土肥という地名で書かれているような歴史ある町でもあります。

近代になってからでも、牧野伸顕、島崎藤村、国木田独步、与謝野鉄幹、晶子、安井曾太郎、竹内栖鳳等たくさんの文人墨客が逗留されています。

芸術文化の香りが漂う町並み、その雰囲気にもっともふさわしいロータリアンの方々の集まりであります湯河原ロータリークラブを日頃から羨ましく思っております。

さて、最近の日本は政治の混乱、景気の先行きの不透明、少子高齢化の不安、年金社会保障の問題等前途多難でございます。

こういう時こそ、ロータリアン一人一人が、「奉仕と友情」の基本に立ち返り、自らの仕事に精一杯取り組むことが大切だと思います。

私ども立山ロータリークラブも、未来がひかり輝きますように、湯河原ロータリークラブの皆様と手を携えて、ロータリー精神を発揮し頑張っていきたいと思っております。

これからも、両クラブの姉妹提携が、60年、70年へと末永く続くことを願い、湯河原ロータリークラブの今後ますますのご発展とご活躍、会員の皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申しあげここに祝いの言葉と致します。



湯河原町長
富田幸宏

湯河原ロータリークラブ
創立50周年を祝して

湯河原ロータリークラブの創立50周年を心からお慶び申し上げます。

湯河原ロータリークラブの皆様におかれましては、ロータリークラブの大きな目標である社会奉仕の精神に基づき、明るく豊かな社会の実現に向け、まちづくり、ひとづくりに、積極的に励んでこられ、地域の発展に多大なるご貢献をされており、心から敬意を表します。

また、50周年の記念事業として、湯河原温泉への歓迎塔を設置していただけることをとてもありがたく思っております。ご寄贈いただく歓迎塔は、湯河原温泉の入口にとってもふさわしく、貴重なシンボルモニュメントとなるものであり、心からお礼を申し上げます。

今、まちづくりにおいては、町民自らが、地域の課題を認識し、自ら解決するとともに、行政と垣根を越えて、共に協力し合う「協働」が重要なテーマでございます。町といたしましても、知恵を絞り、町民の皆様のお力をお借りしながら、地域福祉の向上に努めてまいります。

皆様は、それぞれの職業、分野においてリーダーシップをとられている方々ばかりでございます。どうか、湯河原町が、力強く元気に羽ばたけるよう、今後とも、皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

この創立50周年を契機として、湯河原ロータリークラブの活動のさらなるご発展と、会員の皆様のますますのご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



神奈川県議会議員
向笠茂幸

湯河原ロータリークラブ 創立50周年に寄せて

湯河原ロータリークラブ創立50周年おめでとうございます。

湯河原ロータリークラブ50年の歴史の経過のもと、この度の記念式典が盛大に挙行されましたことに、皆様と共に感銘深く受け止めております。

国際ロータリーから認証を受けて以来、半世紀に経る長い歴史のなかで、それぞれの時代の責任を負ったロータリアンが、奉仕の理念と崇高な使命感を持ち、一步ずつ事業の推進を図り、広く地域住民の皆様から親しまれ、信頼される奉仕団体として発展を遂げられました事に敬意を表します。そして、湯河原町・真鶴町のみならず、神奈川県西部においての、歴史ある湯河原ロータリークラブの存在を誇らしく思うところでもございます。

さて、貴ロータリークラブにおかれましては現在、創立50周年記念事業として、国道135号・県道75号線交差点に観光地の玄関にふさわしい歓迎モニュメントを建設中と伺っております。まさに、このモニュメントに象徴されますように、観光地湯河原の観光施設等に様々なご支援ご寄贈をいただいております。また青少年教育の充実、地域社会福祉の向上、そして、21世紀のメインテーマである環境保全対策などに社会奉仕、寄付行為を通じて、各分野の復興発展を目指してこられました。現在、県・市町など地方自治体財政の置かれている環境は厳しく、予算措置も選択と集中を迫られているなかで、ロータリアン皆様の活動は、県西部地域住民皆様の経済・福祉生活の向上に多大な貢献をなされていると確信しており、心より感謝申し上げます。

ロータリークラブがアメリカ・シカゴで発祥して107年が経過していると聞き込及んでおりますが、貴ロータリークラブがこの歴史の半分を折り返したところで、会員減少という課題に直面しているとのお話も耳にいたしました。その中での湯河原南ロータリークラブとの合併は発展的な新陳代謝と捉えております。これからもロータリアン各位におかれましては10年20年先を見据えて、組織の充実と社会奉仕活動に邁進なされますようお願いしております。

ここに謹んで湯河原ロータリークラブ創立50周年をお祝い致しますとともに、未来への架け橋となるこれからの湯河原ロータリークラブのご隆盛をお祈りいたします。



公益財団法人
米山梅吉記念館
理事長
渡邊脩助

ご祝辞

湯河原R.C.創立50周年記念式典を心からお祝い申し上げます。昭和37年4月20日、小田原R.C.をスポンサークラブとして24名の会員で創立し、多くの素晴らしい奉仕活動を遂行して50周年を迎えられました。50年という長い歴史には色々なことがあったことと存じます。諸先輩のお力添えにより、今日まで会員の皆様が「超我の奉仕」の志を継続され、奉仕活動に邁進されて来られたことに改めて感謝と敬意を表するものであります。

私は貴クラブに、昭和47年から昭和51年まで入会させていただきました。僅か2～3年の期間でしたが、新会員としてロータリー精神を学び、勉強させていただきました。湯河原厚生年金病院の一整形外科医として入会しましたが、例会日の金曜日が手術日でしたので、出席率が悪く、ご迷惑をおかけしました。

昭和51年8月より三島市で開業し、三島R.C.に移籍しました。

その30年後、2004～2005年度ロータリー創立100周年の第2620地区（静岡・山梨）のガバナーになるとは…。ロータリーとの関わりをつけていただいた貴クラブのお陰であり、私のロータリーの原点は湯河原R.C.であると感謝しております。

現在、米山梅吉記念館の理事長を務めております。米山奨学会とは別の公益財団法人であり、昭和44年に創立され、平成10年に新館が完成しました。日本ロータリーの創始者、米山翁の遺徳を偲び、その偉業を讃え、ロータリーの普及を図るためのものです。全国から多くのロータリアンのご来館と「米山精神」を学ばれんことを期待しております。貴クラブがこれからも会員相互の理解と親睦と「ロータリー精神」を基に、益々のご繁栄、ご発展と、会員並びにご家族のご健勝を祈念しまして、湯河原R.C.創立50周年のお祝いのご挨拶といたします。

湯河原ロータリークラブ創立50周年、誠におめでとうございます。



パ
ス
ト
ガ
バ
ナ
ー
生
沼
富
治

国際ロータリー第2780地区
(小田原北ロータリークラブ)

ご祝辞

湯河原ロータリークラブ創立50周年記念を心よりお祝い申し上げます。会員の皆様は天野初代会長のクラブ作りへの卓越せるご識見を旨として初心を忘れず奉仕活動に精励されて半世紀、輝かしい伝統と共に本日をお迎えになりました。お慶び嘸かしと拝察しております。

天野会長さんは、クラブの奉仕活動について「ロータリーも色々むずかしいことを言いますが、所詮は親睦団体ではないか。会員同士が坦々と語り合う中から、淡い水の如く清純な友情が湧き、やがて親睦の輪となるでしょう。凡ての奉仕活動は親睦あってはじめてできることでしょう」と、熱心に説かれます。

天野先生の奉仕論に重ねるようにその都度私は安野譲次氏の説かれる奉仕“春の雨”の一節を思いおこすのです。

「ロータリーの奉仕は春雨の如く、静かに明るく人知れず大地を潤し、この世を美しく、そして住みよくするものであると信じます」と。

安野氏はD360、1964～65ガバナーをつとめられた国際的にも著名なロータリアンですが晩年を小田原市城山で過ごされました。天野氏とのご交遊が偲ばれます。時恰も春雨の季節。湯河原温泉の湯煙の中に、楽しそうにロータリー談義を交わしておられるであろうお二人の姿が彷彿とされます。

もしお二人がこちらにお出でになられたら、殊の外満足され安堵の言葉を遺していかれるでしょう。昨今のロータリー事情を思うとき、湯河原クラブの皆様の更なるご精進と益々のご発展をご祈念申し上げ祝辞といたします。



国際ロータリー第2780地区
パストガバナー
山地裕昭

ご祝辞

湯河原ロータリークラブの皆様50周年誠におめでとうございます。

1962年に湯河原ロータリークラブという出会いの場が生まれ

ロータリーつながりの中で多くの友人と知り合い
ロータリーつながりの中でお互い自己を磨き
ロータリーつながりの中で奉仕をする喜びを知り

そのつながりの中でフェローシップとサービスを学ぶ
仲間を大切に思う心と世のため人のために尽くす心は開かれた家庭、開かれた職場を生みだしてきました。

湯河原ロータリークラブの50年の歩みは歴代の先輩方の辛苦の上に成り立っており60年、100年の歩みに向けての、輝かしい一步を築く。

50周年を飛躍の年として、地元始め遠く離れた地域社会にもより一層のロータリー精神を発信続けていただきたいと期待しております。

本日は誠におめでとうございます。



国際ロータリー第2780地区
第9グループ
ガバナー補佐
橋本 榎雄

ご祝辞

湯河原ロータリークラブ、創立50周年、誠におめでとうございます。1962年（昭和37年4月20日）に創立し、1963年（昭和38年3月20日）に伝達式が挙行されました。その間、10周年記念事業、45周年記念事業として、植栽したもみじの下草刈りの作業奉仕を行ったり、次世代を担う子供の育成の為、ガールスカウトへの援助も継続し、地域で行われる奉仕活動に積極的に参加されました。2010年には、創立35年を迎えた湯河原南ロータリークラブと一体となり、県西地域でのロータリークラブの中核として、一層の活躍が期待されてます。

貴クラブで特質すべきは、創立以来、例会の出席率が極めて高い事です。特に1977年から1989年まで、連続100%の出席率達成の記録です。これは、ロータリーに対する会員の皆様の意識の高さだと思います。会員の皆様のロータリー精神に心から敬意を表しますとともに、今後、湯河原ロータリークラブの益々のご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの辞とさせていただきます。



米山奨学生
斯琴さんより

お祝いの メッセージ

湯河原ロータリークラブが創立50周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

奨学生として、湯河原ロータリークラブでお世話になっていた一年間は、私にとっては、いい思い出をいっぱい作って、得るところが多かった一年間でした。いつも笑顔で迎えていただいて、家族みたいな温かい雰囲気を作っていただいたクラブの皆さまにすごく感謝しています。湯河原ロータリークラブで学んだ奉仕精神とその温かさを伝えていきたいです。これから、日本で学んだ知識などを活用し、環境分野で日中両国の架け橋の役割を果たすために、力を尽くそうと思っています。

今後の湯河原ロータリークラブのより一層の発展をお祈り申し上げます。

